

主催：静岡大学大学院人文社会科学科 臨床人間科学専攻

後援：NPO法人 サンフォレスト



ひきこもり

訪問支援、そして包括的支援の方法とシステム

静岡においても「ひきこもり」支援のさらなる充実が求められ、そのあり方について共に学び、情報を共有していくことが求められています。そこで、静岡大学大学院 人文社会科学科 臨床人間科学専攻では、東京あるいは大阪でひきこもり支援の貴重な経験を積み重ねてこられた支援者たちにご報告いただくことで、県下の行政関係者、臨床家、NPO法人など、この問題に関わる方々と知識を共有しつつ交流を図りたいと思います。

ご報告頂く方は、首都圏を中心に2000年より主に訪問支援活動を展開されてきたNPO法人メンタル・コミュニケーション・リサーチ（MCR）の理事長・齋藤暢一朗さん（臨床心理士）と、大阪地区を中心に1992年より包括的な支援を展開されてきたNPO法人淡路プラッツの代表・田中俊英さんになります。MCRは多くのスタッフを擁しつつ、大変充実した教育システムを構築し、慎重かつ有効な訪問支援を組織的に実践されています。淡路プラッツは大阪府の緊急雇用創出基金事業を受託するなど行政ともタイアップしてこの地区の支援体制を支えてこられました。静岡からは、やはり訪問支援を中心に継続されてきましたNPO法人サンフォレストの代表・三森重則さんにコメンテーターとしてご参加頂きます。

ご関心のある方はぜひご参加下さい。

連絡先：静岡大学人文社会科学部 荻野達史 jtogino@ipc.shizuoka.ac.jp

日時・会場

- 2012年12月08日（土）
- 13:00開場 13:30開会～16:40閉会
- 静岡駅ビル7Fパルシェ会議室（特別会議室3）
- 参加費：無料

テーマ

「訪問支援システムの構築について」

齋藤 暢一朗

NPO法人メンタル・コミュニケーション
・リサーチ理事長、臨床心理士

「地域における包括的支援体制の確立
について」

田中 俊英

NPO法人淡路プラッツ代表

コメンテーター

三森 重則

NPO法人サンフォレスト代表